

== 八戸聾学校 ==

学校だより

== 令和8年9月25日 ==



幼稚部

楽しかったね、親子遠足



9月11日(金)、幼稚部の親子遠足で、駒っこランドへ行きました。怪しい空模様をよそに、朝からにこにこ笑顔のこどもたち。ママと一緒にバス遠足で、嬉しそうな姿がかわいらしかったです。駒っこランドに着くと、まずは馬に餌やりをしました。本物の馬は想像以上に顔も口も大きくて、ビックリ！それでも、勇気を出して自分であげることができました。そして、虫取りがブームのこどもたちは、草原や池にいる虫や生き物たちにも興味津々。トンボやチョウ、カエルを捕まえて、大満足でした。昼頃から雨が止み、青空が見えてきて、お楽しみのお弁当は外で食べられました。青空の下、みんなで食べるお弁当は格別においしかったです。おやつ交換も忙しいほど盛り上がり、とっても楽しい親子遠足になりました。



小学部

遠足

9月11日(金)に1～4年生は、十和田市の駒っこランドへ遠足に行ってきました。

十和田市に入った頃からポツリポツリとバスのフロントガラスに雨が当たって、天気心配されましたが、幸いそれほど雨足は強くなく、カッパを着て馬への餌やりや乗馬を楽しんでいるうちに雨は上がり、お弁当を食べていると太陽が顔を出してくれました。

昼食後におやつ交換をして、エネルギーいっぱいになった児童たちは、芝生を駆け回って虫を捕ったり、汗だくになってアスレチックで遊んだりして、遠足を満喫することができました。





福地中学校との交流会

9月3日(木)、南部町立福地中学校との交流会がありました。「手話を楽しみながら広めよう」というスローガンのもと、聾学校中学部5名で「手話」と「しりとり」を融合した全員参加型ゲーム「シュワトリ」を考え、福地中学校の生徒約40名と一緒にに行いました。準備した「五十音の手話リスト」だけでなく、福地中学校の生徒からの「この手話は？」という質問にも、一生懸命こたえる様子が見られました。

福地中学校から提案されたゲームは、「だるまさんがころんだ」や「UNO」を、聾学校の生徒たちに分かりやすいように工夫されていました。中でも「ソフトバレーボール」では、サーブを打つ人に対して、レシーバー全員でグッドサインを出し、みんなが分かるようなルールで、楽しく行うことができました。

あっという間の2時間半でした。来年は福地中学校を聾学校に招いての交流となります。



舎生の集い（誕生会）

9月8日(火) 食堂で舎生の集い（誕生会）を行いました。今回は7月から12月までの誕生者をみんなでお祝いしました。おやつにはドーナツを用意し、さらに「おかしバイキング」を行いました。たくさんあるおかしの中から、食べたいものを選んで、楽しみながら自分で選択する経験ができました。

その後、「この人は誰だ？」クイズをしました。パソコンの画面に映し出された写真をよく見ようとみんなで画面の前に集まり、「〇〇さんじゃない？」などと声を掛け合いながら、楽しく盛り上がりました。みんなでお祝いしたり自分でお菓子を選んだり、クイズを楽しんだりして笑顔いっぱいの楽しい時間を過ごすことができました。





指導部

防災フィールドワーク



9月16日(水)、地震により大津波警報が発令された場合を想定した避難に向けて、避難場所までの道中の危険な箇所などを調べました。東京法令出版の方を講師に招き、危険な場所、安全な場所などの具体例やアプリの使い方を確認して、2グループに分かれ学校を出発。いつも何気なく通っている道ですが、改めて「地震が起きたら」という視点で見ると、危ないと感じる場所がたくさんあったようです。学校に戻ってそれぞれが撮ってきた写真を用い、学校から八戸ポータルミュージアムまでの防災マップを作成することができました。ご家庭でも、災害時の行動や避難先、非常用持出袋などについてお子様と一緒に確認してみてください。



教務部

TAKUMA CAMP in 八戸

9月4日(金)、本校卒業生 佐々木琢磨さんとデフアスリート日本代表の皆さん、計10名が来校しました。この日は、陸上競技の若い人材を育てる活動の一環として、こどもたちに足が速くなるためのコツなどを教えてくれました。こどもたちの興味に合わせてゲーム活動を取り入れ、村田鬼をしたり、アスリートと一緒に走ったりするうちに、校庭はたくさんの笑顔でいっぱいになりました。リレーでは、肩をたたいて合図をするデフならではのバトンパスも体験。「こうすれば相手に伝わる!」と、こどもたちは楽しみながら新しい方法を学びました。

アスリートとしてこどもたちの前に立つ佐々木琢磨さんの姿から、こどもたちにとって、夢や目標に向かって挑戦することの素晴らしさを感じる機会になりました。

